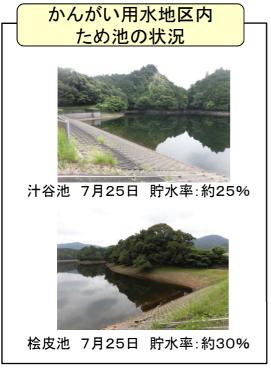
宮川の渇水概要(7月25日時点)

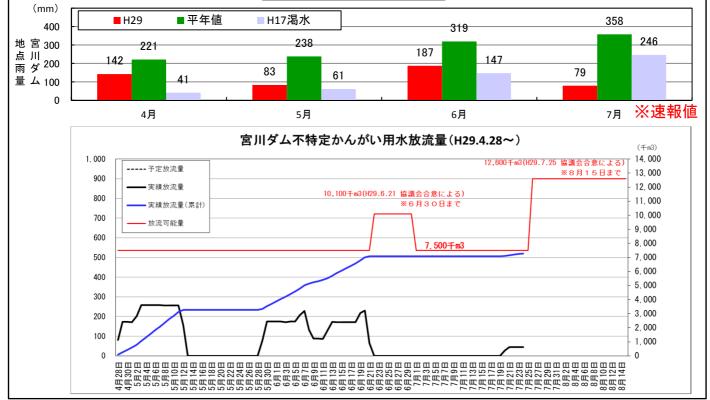
渇水状況

- ・ 5月の降雨は平年の約35%、6月においても平年の約60%と少雨傾向。
- ・ 7月の降雨は7月25日時点で、平年における月間累計雨量の約20%。
- かんがい用水の不足により、4月28日より、宮川ダムから7,500千m3を上限とするかんがい用水の補給を開始。
- ・ 今後、このままの状況が続けば宮川ダムの不特定かんがい用水7,500千m3を 使い切るため、8月15日まで、上記かんがい用水を使い切った場合、宮川ダムの 発電用貯留水のうち、新たに5,100千m3を上限として融通。





降雨状況等



宮川の渇水対応状況(7月25日時点)

これまでの対応状況

- 3月より、宮川用水土地改良区が各路線地区委員会の場において 本年の少雨状況を説明し、節水対策を指示。
- 6月16日に三重河川国道事務所渇水対策支部を設置。
- ・ 6月21日に宮川渇水調整協議会を開催。 取水制限(上水:自主、農水:35%)及び、6月30日まで2,600千m3の範囲で宮川 ダムの発電貯留量の一部をかんがい用水として融通を行う措置を決定。
- 7月25日の第2回宮川渇水調整協議会で、水利使用の調整。 取水制限(上水:自主、農水:25%)等の措置を決定。

宮川用水 各路線地区委員会の様子



三重河川国道事務所渴水対策支部設置状況(H29.6.16)



河川巡視実施状況(H29.6.19)



平成29年度 第1回宮川渇水調整協議会(H29.6.21)



今後の対応予定

- 関係者間の情報交換を密にする。
- かんがい用水の需要量及びダムの補給可能残量を毎日把握する。
- ・ ダムの貯留水をかんがい用水のために再度融通する必要が生じた 場合、利水者間での調整を行う。